6　芸術（音楽）

| 学校番号 | １０８ |
|---|---|

平成 31 年度　芸術科（音楽）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅲ | 単位数 | ２単位 | 年次 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 音楽Ⅲ（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野について学習します。
・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:音楽への関心・意欲・態度 | b:音楽表現の創意工夫 | c:音楽表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 | 創意工夫を用いた音楽表現をするために、必要な歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。 | 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受する。加えて、楽曲や演奏を解釈し、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、美しさを観賞している。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート | 演奏の聴取<br>観察<br>ワークシート | 演奏の聴取<br>提出作品 | 観察<br>ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう | 【歌唱】<br>歌曲 | ○ | ○ | ○ | | a:歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。<br>c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 弾き語りに挑戦しよう | 【器楽】<br>ギター・鍵盤楽器<br>5 曲の中から選択 | ○ | ○ | ○ | | a：楽器の応用的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか表現意図を持っている。<br>C 弾き語りするための基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 作曲に親しもう | 【創作】<br>簡単な作曲 | | ○ | | | b:旋律やリズムの特徴、変化を知覚し、その働きを感受しながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 | 観察<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 和楽器に親しもう | 【和楽器】<br>箏・三線・篠笛から選択 | ○ | ○ | ○ | | a:日本の伝統楽器への文化的、歴史的背景への関心を高めている。<br>b:旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を表現する意図を持っている。<br>c:和楽器の特徴を理解し、表現したい意図が伝わる技能を身につけている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 絵画と音楽の関係を聴こう | 【鑑賞】<br>管弦楽曲 | ○ | | | ○ | a:楽器と音楽、絵画との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながらそれらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを観賞している。 | 観察<br>ワークシート |
| | グループアンサンブルに挑戦しよう | 【歌唱・器楽・鑑賞・創作】<br>グループアンサンブル | ○ | ○ | ○ | | a: 自分たちの表現を人に伝えられるように演奏するということに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。<br>b:歌詞の内容や音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか表現意図を持っている。<br>c:表現したいことを伝えるために必要な楽器の基礎的な演奏技能を身につけ、創造的に表現している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| 3学期 | ハーモニーを味わおう | 【歌唱】<br>合唱 | ○ | ○ | ○ | | a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。<br>c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている | 観察<br>演奏の聴取 |

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。